

爲苦
也鮒此
類

集解處處池澤川湖多有形似小鯉色黑體扁肥大而脊隆頭小大者一二尺性喜食泥土而不食雜物故補脾胃其味不減鯉魚但恨肉中多小刺焉

〔重修本草綱目啓蒙二十九〕鯽魚 モブシ萬葉集フナ アラフナ備後此國ニテハ鯉魚 ツカブナ
者ナル云 一名鮮于羹水族加逆鱗魚異名 波臣事珠鱈通字鱗鱗鱈鮒正字
共同

池澤川湖皆多シ寧波府志ニ出河水者色白湖中者色黒ト云池澤中ニ產スル者ハ骨軟ニシテ肉肥味美ナリ、流水中ニ生ズル者ハ骨硬クシテ肉脆ク味佳ナラズ、鯉魚ハコレニ反ス、〔魚鑑下〕ふな○中略昔近江の餘吾の紅葉鮒とて賞しぬ今もその名残れり、卽膳所侯上る所なり、世に琵琶湖の產を上とす俗に夏頃鮒といふ夏の頃その多くいづるをもつてなり、後誤りて源五郎ぶなといふ、その身扁きものをひはら、眞ふなといひ上とす、身圓く鯉の如きものをいをなるをといふ下とす、武州綾瀬川のもの、大サ二尺にいたる味ひ美し、信州諏訪湖のものも美し。

〔萬葉集四相聞〕高安王裏鮒贈娘子歌一首

奥弊往邊去伊麻夜爲妹吾漁有藻臥東鮒

〔萬葉集十六由縁并雜歌〕詠香塔廁屎鮒奴歌
香塗流塔爾莫依川隅乃屎鮒喫有痛女奴

〔源氏物語三十三〕藤裏葉ひがしの池に舟どもうけて、みづしどころのうかひのをさ、院の鶴かひをめしならべて、鶴をおろさせたまへり、ちいさきふなどもくひたり、〔赤染衛門集〕おもひかけたる人のふなをおこせてさまかへて世を心みんあすか川戀路にえつるふな人ぞこれ